

小豆支部 活動報告

1 研究主題

生き抜く力を育むためのメディア教育
の在り方
～確かな学力を育むためのメディア活用～

2 はじめに

最近では、家庭においてコンピュータや従来型携帯電話に加え、スマートフォンやタブレット型コンピュータが急激に普及している。このような中、学校においては、生徒にこれらのメディア機器を有効に活用する力を身に付けさせ、確かな学力を育成することが大きな課題となってきた。そこで、小豆支部では、タブレット型コンピュータ（以下タブレット）及び放送教育番組の有効活用について研究を行い、確かな学力の育成を図ることとした。

3 研究計画

(1) 4月30日（水）

香中研小豆支部総会

場所：土庄町立土庄中学校

内容：研究組織、研究主題、研究計画

(2) 8月20日（水）

小豆支部メディア教育研究部会研修会

場所：土庄町立土庄中学校

内容：放送教育についての研修

(3) 11月下旬

小豆支部メディア教育研究部会研修会

場所：小豆島町立小豆島中学校

内容：タブレットを活用した授業研究

4 研究内容

(1) メディア機器を効果的に活用した授業実践

① 学年・教科

第1学年・社会科

② 題材

身近なものからみたアジア

③ 使用機器

iPad 4 台（教師用 1 台、生徒用 3 台）、プロジェクター、スクリーン



〈活用したメディア機器〉

④ 使用場面

課題について調べたり、映像コンテンツを見たりするのに iPad を使用した。

また、生徒が見ている資料を全体に紹介する際に、プロジェクターを使用してスクリーンに投影した。

⑤ 指導案（一部抜粋）

6 本時の学習指導

- (1) 目標 アジアの急速な経済成長が日本の産業に与えた影響を理解することができる。
(2) 準備物 資料集 地図帳 参考資料 ワークシート タブレットPC プロジェクター
(3) 学習指導過程

学習内容及び学習活動	教師の指導・支援
1 アジアの製品が日本に多くあることに気がつく。 (資) 映像：アジアの製品と製品タグ	・実際に身に着けている物にアジア製が多いことに気付かせる。
2 日本の貿易状態を確認する (資) アジア諸国と日本の貿易額等のグラフ ・輸出・輸入が6割アジアであること (資) アジア諸国と日本の貿易内容の内訳グラフ ・貿易品が原材料から工業製品に変化 (資) 前時のワークシート ・アジアと日本の関係の変化を確認 3 本時の主題を確認、予想をする。 日本にアジア製品が増えたことで双方に、どんな影響があるのだろうか。	・グラフから数値や変化を読み取りワークシートに記入させる。その際にグラフの説明、割合の変化について留意しながら説明する。(プロジェクター使用)
(資) インドネシアの経済成長を示した動画 ・経済成長、都市部と農村部の格差	・個人で調べ、インドネシアの動画から気がついたことをワークシートに記入した後、情報交換させる。(プロジェクター使用)
4 予想について検証する。 資料から見つけた情報をもとに、主題解決のキーワードを見つけ、その図を作成する。(全体学習) (資) インドネシアの都市部と農村部の賃金など ・賃金が高い都市部に人口集中し経済格差が発生 (資) インドネシアへの海外企業の分布・国別割合図 ・多くの日本企業が進出し、産業の空洞化を招いている	・資料から読み取り、気がついたことを全体で話し合わせる。映像資料は自由に操作し、気が付いたことをワークシートにメモさせ、全体で整理しキーワード化する。(タブレットPC使用) ・「経済格差」に結びつくキーワードを選択し、その関連性や矢印や線などを使って黒板に図画していく。 ⑤急速な工業化によって発生する問題点を考察することができたか。 (資料活用 観察、ワークシート)
5 まとめ。 (資) 日本の産業の空洞化対策 ・日本法人税改革、都道府県の取り組み	⑥図：K0：人口の移動と、賃金の差に着目させる。それが国内だけではなく、海外からの企業が進出してくる理由になっていることにも気付かせる。 ⑦図：0・Ki どのようなところで人が働きたいかを考えるよう指示する。 ・産業の空洞化の改善の1つの取り組みから国内産業の活性化を目指す動きを紹介し次時につなげられるようにする。

(2) 放送番組を活用した授業実践

① 学年・教科

第3学年・理科

② 題材

「力と運動」、「地球と太陽系」

③ 使用番組

NHK for School 10min ボックス

「力と運動」、「大科学実験」

「月の満ち欠け」、「銀河の広がり」

④ 使用場面

- ・等速直線運動についての説明の時に使用した。
- ・慣性の法則をテーブルクロス引きで説明している場面を使用した。
- ・実験の結果を確認するために使用した。



〈 活用した番組 NHK for School 〉
(<http://www.nhk.or.jp/school/>)

(3) 各校の状況

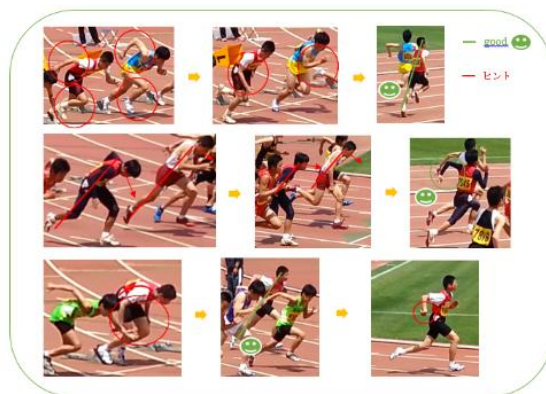
① 土庄町立土庄中学校

Windows XP のサポート終了に伴い教師用ノート PC は導入されたが、授業で活用できる PC は現在まだない。インターネット上の映像コンテンツの利用などが主な使用目的として考えられるため、インターネットに接続可能な機器の導入が望まれるところである。

② 土庄町立豊島中学校

iPad を授業だけでなく部活動にも活用している。実際に録画した自分たちの試合や練習の映像を客観的に見ることや、自分

の想像していた動きと実際の動きにギャップを感じたり、新しい課題を見つけたりすることに役立っている。また、矢印や線を用いて、課題や改善点の確認することにも活用している。



③ 小豆島町立小豆島中学校

昨年9月に Windows 8.1 タブレットが45台導入された。無線 LAN アクセスポイントを増設したことで、インターネットに接続して活用できるようになった。ほとんどの教科の授業において活用しており、効果的な活用方法を研究しているところである。また、フィルタリングソフトのリストを再設定したことにより、これまでは見られなかった映像コンテンツが見られるようになり、授業での活用の幅が広がった。

5 今後の課題

最近はこの家庭にもコンピュータがあり、大人は1人1台携帯電話(またはスマートフォン)を所持している。また、多くの小中学生は LINE をはじめとする SNS を常時利用している。そのような時代であるからこそ、学校においてはメディア機器・教材の教育活用についてさらに研究を深め、生き抜く力を育てていくことが求められる。

現在は、学校によりメディア機器・教材の整備状況に多少の違いがある。しかし、先進して整備している学校の取り組みに学び、郡内すべての学校において効果的なメディア教育が実践できるよう整備状況をそろえていかなければならない。